

令和3年度決算概況

令和4年9月1日（木）
市長定例記者会見

一 般 会 計

歳入決算額 6, 538億6, 400万円

歳出決算額 6, 401億0, 000万円

実質収支額 73億2, 800万円

決算規模は、昨年度に次ぐ過去2番目

〔一般会計〕

歳入の主な特徴

- 市税収入 2, 737億8, 700万円
前年度比 ▲8億9, 900万円、 0.3%の減
- 国庫支出金 1, 603億8, 200万円
前年度比 ▲895億3, 000万円、 35.8%の減
- 地方交付税 155億5, 700万円
前年度比 89億5, 200万円、 135.5%の増

〔一般会計〕

歳出の主な特徴

●義務的経費 3,487億 100万円
前年度比 314億8,500万円、 9.9%増

内 訳	・人件費	15億7,400万円の増
	・扶助費	301億5,800万円の増
	・公債費	2億4,700万円の減

●投資的経費 704億1,300万円
前年度比 31億3,800万円、 4.7%増

●その他の経費 2,209億8,600万円
前年度比 ▲984億3,100万円、 30.8%減

新型コロナウイルス感染症対策経費

令和3年度においても、継続して新型コロナウイルス感染症に対応。

●歳出決算額 583億4,400万円

歳出の主な内容

「子育て世帯への特別給付金給付事業」	187億9,400万円
「新型コロナウイルスワクチン接種事業」	162億5,900万円
「住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業」	56億900万円

特別会計

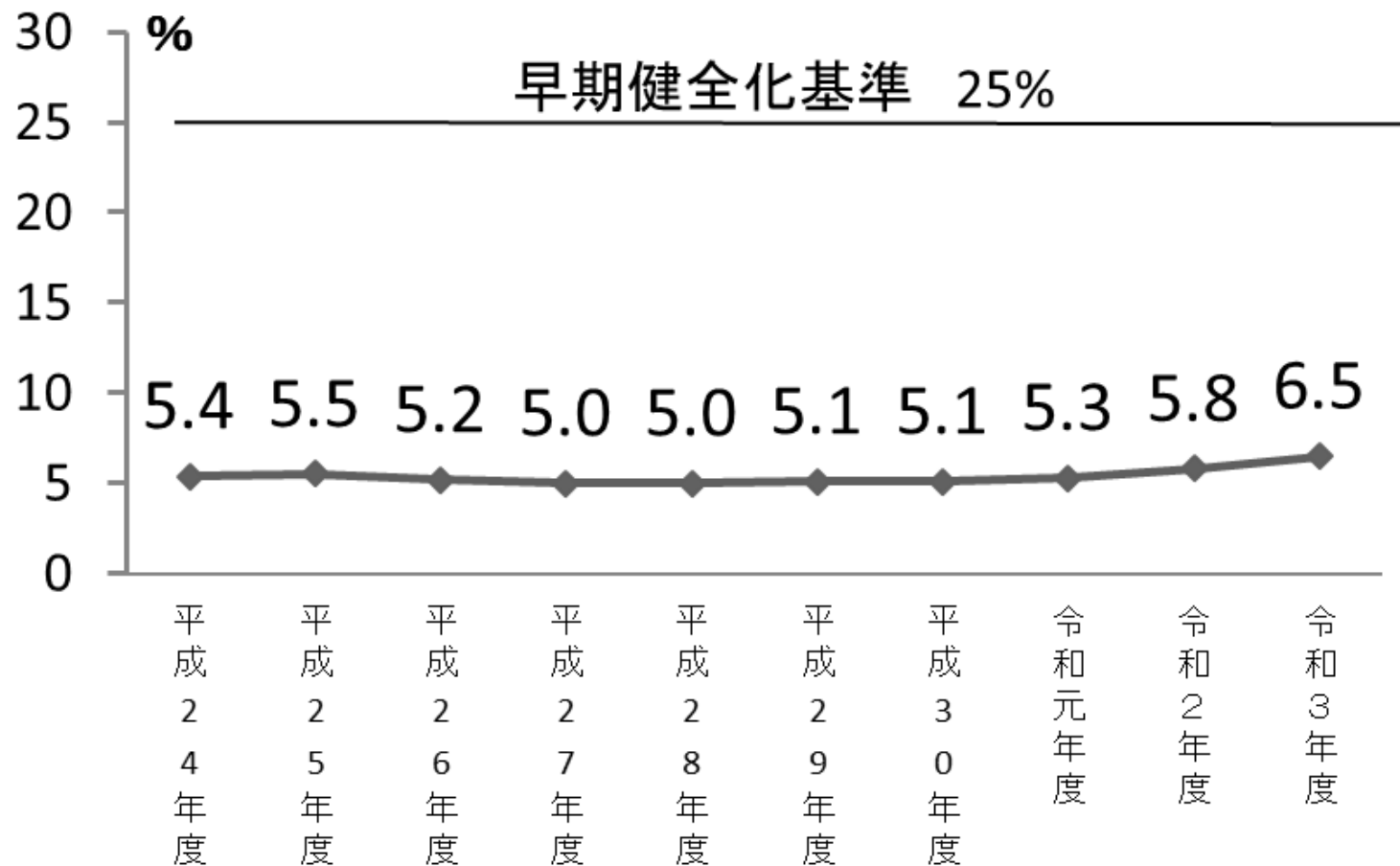
国民健康保険事業特別会計ほか 13 会計

- 歳入決算額 3, 204億7, 100万円
- 歳出決算額 3, 175億2, 600万円
- 実質収支額 26億2, 100万円

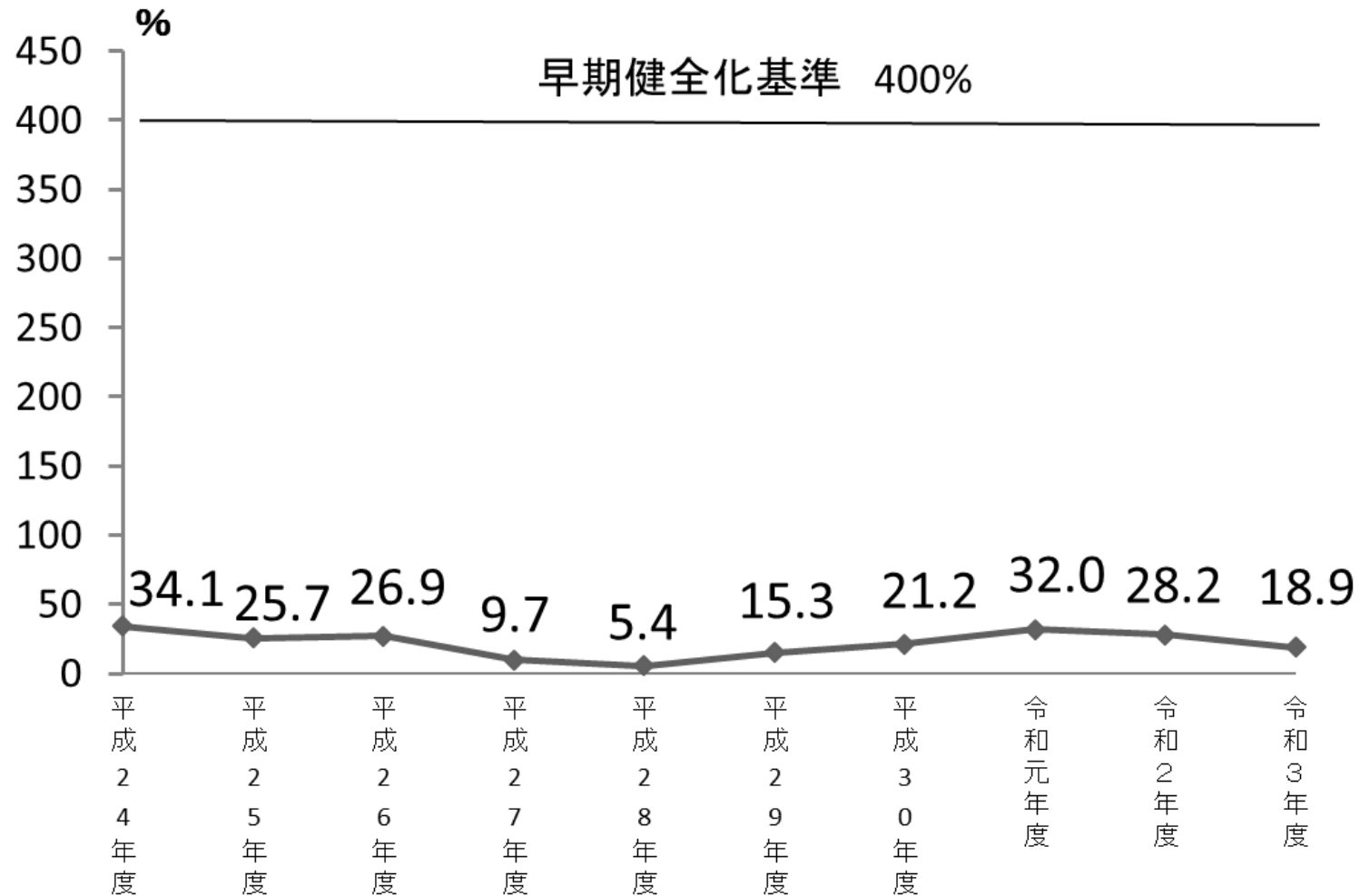
財政健全化判断比率等

●実質赤字比率、連結実質赤字比率はいずれも黒字

●実質公債費比率 6.5%



●将来負担比率 18.9%



●資金不足比率

- ・ 9企業会計のいずれも資金不足は発生していない

公 営 企 業 会 計

● 水道事業会計

・ 事業収益	3 1 0 億 3,	7 0 0 万円
・ 事業費用	2 5 8 億	6 0 0 万円
・ 当年度損益	5 2 億 3,	1 0 0 万円

● 病院事業会計

・ 事業収益	2 5 7 億	4 0 0 万円
・ 事業費用	2 4 4 億	1 0 0 万円
・ 当年度損益	1 3 億	3 0 0 万円

● 下水道事業会計

・ 事業収益	2 4 7 億 7,	1 0 0 万円
・ 事業費用	2 3 7 億 9,	0 0 0 万円
・ 当年度損益	9 億 8,	1 0 0 万円